

令和2年9月25日発行
No.344



発行元：社会福祉法人 拓く
TEL 0942-27-2039
FAX 0942-27-2086
<http://h-polepole.com>

とうほく ほっかいどう ごうう みま 東北や北海道から豪雨のお見舞いをいただきました

ことし がつ ごううじ ほれほれまつ まいとし こ ふくしまけん えぬびーおーほうじん こーひーたいむ はしちとさま
今年7月の豪雨時、ポレポレ祭りに毎年お越しにいただいている福島県のNPO法人コーヒータイムの橋本様より



くるめ だいじょうぶ かんぱ あつ なに おく おも
り「久留米は大丈夫ですか。みんなでカンパを集めて何かを送ろうと思います」と、ご連絡をいただきました。幸いなことに、拓くには、雨の影響はありませんでしたが、後日たくさんの桃が届きました。大雨対応お疲れ様です、とコメントをいただき、利用者とスタッフみんなでいただきました。

また、その後、北海道の社会福祉法人HOPの竹田様より富良野メロンが届きました。困ったときに助け合える、気かけあえる仲間が、全国にいることが、いざという時の安心につながっています。





しごと たい いしき か しせつがいしゅうろう 仕事に対する意識が変わる、施設外就労

ことし がつ ほれほれ りようしゃ しゅう にち ふじみつまち ゆうげんがいしゃ ふーす しせつがいしゅうろう しゅうろうけいぞくびーがた
今年5月よりポレポレの利用者さんが週4日、藤光町にある有限会社たかのフーズに施設外就労（就労継続B型）と



して行っています。働きに出る利用者さんも当初の5名から、現在は8名に増えました。主な仕事内容は、段ボールの組み立てです。日々ノルマがあるため、そのノルマをこなせるよう、毎日必死に取り組まれています。慣れない作業も、回数を重ねることでコツをつかみ、作業スピードが上がっています。苦しい作業、得意な作業がありますが、お互いカバーしあう姿を多く見かけます。

「頑張った分だけ、お給料が貰える!」「買ったお給料で好きな物が貰える!」と利用者さんが話しているのを聞き、仕事をしたいという意欲の高さを感じています。日数や時間を増やすごとに工賃アップにつながるので、利用者さんも「仕事」に対する意識が高まっているのだと思います。私自身、

たかのフーズの担当をするようになり、環境の変化によって意識が変わっていくことを実感でき、工賃アップできるように支援していきたいとおもっています。

仕事は大事ですが、そればかりだと疲れてしまうこともあります。たまに息抜きとしてバーベキューなどのお食事会を開催し、モチベーション作りにも取り組んでいきたいとおもっています。

（出会いの場ポレポレ 児玉 鈴子）

台風への備えを見直します

今年も台風の時期がやってきました。年々、自然災害が増す中で、台風も例外ではありません。

9月初旬、特別警報級の台風10号が接近、または上陸するおそれがあると発表されました。6日夜から7日朝にかけて最接近が予想される前々日の金曜日、被害を最小限に抑える為にできる準備を地域の先輩方に聞いたり、ネットで調べ、必要な段ボールや養生テープの確保に走り回りましたが、すでに完売している店がほとんどで、手に入れる事が困難な状況でした。ストックしていた分と業者さんに依頼をして何とか間に合いましたが、常日頃から準備しておく事の重要性を感じました。夕方利用者さんが帰宅されてから職員総出で窓ガラスに段ボールや養生テープを米印に貼り、飛散防止対策や断水を考慮してあちらこちらに水を溜める作業を行いました。



また、停電にも備え、発電機の試運転や携帯等の充電、法人車のガソリンも満タンにするなど対応に追われました。翌土曜日は各事業所の状況確認を行い、日曜日は災害対策会議をオンラインにて実施。月曜の対応や各家庭の状況の聞き取りを行い、対応を協議。情報共有はLINEにて行いました。施設外就労はスタッフが前泊して職務を遂行し、ご自宅で過ごす事が不安に思われているご家族は、グループホームやポレポレに避難していただき、スタッフも一緒に一夜を過ごしました。



今回の台風は警戒していたよりも勢力が弱まり、大きな被害は出ずによかったのですが、停電・断水などライフラインが長期間途絶えたとき、避難する人が多くなったとき、到底法人だけで守れるものではないと限界も感じます。みんなで声を掛け合い、支え合いの中で分散避難することも大切だと痛感しました。

出会いの場ポレポレが開所して19年になりますが、窓ガラスを補強したのは初めてでした。

地震・大雨・コロナに加え、台風・停電・断水など必要な備えはそれぞれ異なりますが、今できる備えを、今一度見直したいと思います。

